

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第176号

Nanae Historical  
Museum Collection

## ななえ古写真物語

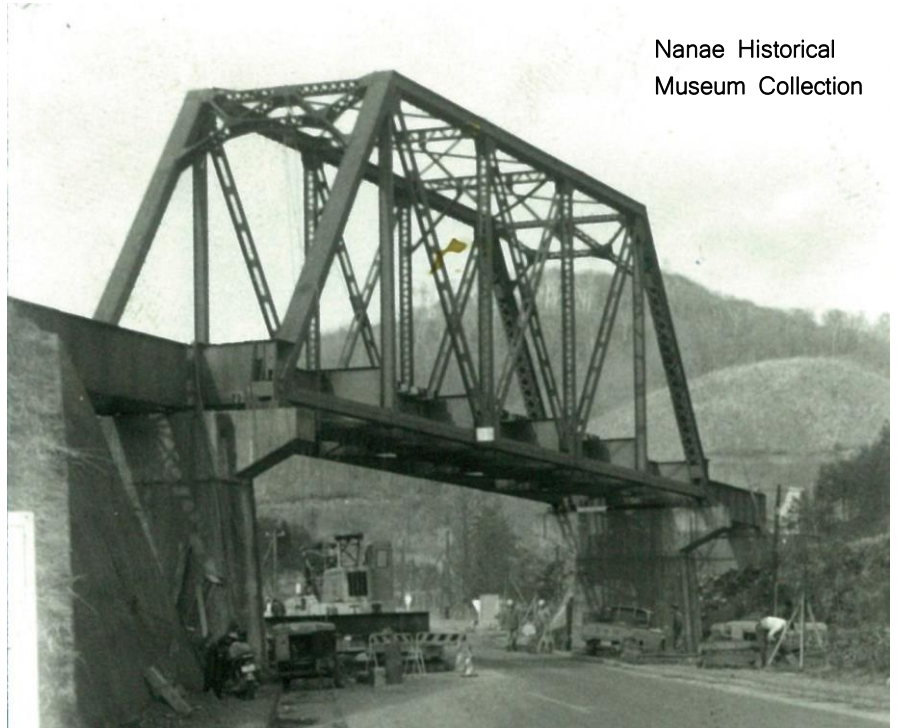
VOL.176

### 忘却の鉄橋

藤城線開通後撤去された峠下陸橋

昭和41年ころ

峠下地区



この陸橋について、記憶している人が少なくなっただろうし、私のように見たことすらない人のほうが大半となったと思われる。しかし、七飯町を縦断する国道5号に、このような陸橋があったことを『七飯町史』の「写真集」には紹介されている。それが上の写真である。

先日、鉄道路線についての問い合わせがあり、この写真のことを思い出したので、備忘録がわりに記しておくことにする。

写真のキャプションには、「藤城線開通後に撤去された峠下陸橋」とあるが、残念ながら本編には一言もこの陸橋に触れていない。藤城線が開通したのは昭和41年なので、撤去はそれ以降であることは推測できるが、開通と同時に撤去されたのか、ある程度の期間をおいてからなのかは、今のところ不明である。

設置されていた場所については、内務省地理調査所が昭和21年に発行した「大沼公園」の地図を参照した。藤城線ができる前の地図だ。それを見ると、現在、七飯町本町から大沼へ抜ける大沼隧道（昭和39年開通）の手前にある「鳥越橋」のあたりだろうと思われる。地図上では国道5号と鉄道路線が交差し、山側のトンネルをぬけて小沼側で再び線路が描かれていた。現在のトンネルの位置とは異なる様子がみとれた。

ただし、撤去されたのが昭和41年以降となると、それまで峠道を超えて、じゅんさい沼側に降りるルートだった国道5号には、小沼側へ直接抜けるトンネルができていたので、この地図とは、車線が若干異なっている可能性もある。写真を見る限り、現在4車線になっている道も2車線と幅が狭く、今とはかなり様相が違って見えるので、より詳細な場所を断定するには、もう少し調べる必要があるようだ。

藤城線が開通するまで、仁山信号場から大沼駅の区間は勾配がきついため、蒸気機関を前後2両にして、馬力をあげて走行するスイッチバックで乗り切っていたこと（ピチャリ101号参照）を考えると、この陸橋の上を走る列車の力強さは、国道からも相当の迫力で目の当りにできただろう。幻となった峠下陸橋を列車が通過している写真を、当館で所蔵していないのが悔やまれる。もし、そういった写真をお持ちの方がいたら、ご提供いただくと嬉しい。

現在、車線も増え、交通量も多い峠下地区の国道5号だが、かつてその上を列車が通過していたとは思えないほど変貌した。おそらくは写真に写っているコンクリート製の橋脚も道路の拡幅工事によって、名残りはないのだろうが、路線の痕跡が残っていないか、現地を歩いて確かめようと思う。

## 企画展「トリドリ」を開催中です

鳥の剥製がズラリと並んでいると、ギョッとしてしまう人もいるかも知れません。しかしこの展示はそんな剥製ばかりを並べ、鳥の生態にスポットを当てた展示ではなく、街に進出してきた身近な鳥の名前や特徴、文学の中に登場する鳥、また共存していく中で守るべきルールの提言など、まさに「トリドリ」な趣向で楽しめる展示です。似ているけどよく見ると違うエトピリカとツノメドリは表情に注目してみると面白いです。ぜひ足をお運び下さいませ。



## 6日 ななえの産業遺産を紹介

夜の博物館第2夜は「ななえの産業遺産」と題して、東大沼にあった精進川鉱山跡や現在も使われて続けている藤城高架橋、趣きある風情で今も大沼に残る旧銚子口取水口、そして七飯町の主要道路である国道5号の歴史と土木遺産としての評価、なにより沿道に並び、北海道では類をみない赤松並木の紹介しました。意外と街なかにも産業遺産と呼べるものはあります。探し歩きながら、町を楽しむという提案をさせてもらいました。



## 27日 ジュニア探検クラブの活動

虫網をもった子どもたちが、あちらこちら歩走り回る光景。7月のジュニア探検クラブは、虫捕りです。オニヤンマを探す子、キアゲハを追いかける子、樹液のでていいる木を探し、クワガタをもぎ取る子、セミの羽化の様子をみたりもしながら、小雨降る中にもかかわらず、昆虫採集にいそしみました。昆虫は偏食です。彼らの好きなものは何か、よく観察することが大事。フィールドには多くの学びがあります。それを体感できたのなら、いいのですが。



## 9月の予定

1	木	企画展「トリドリ」開催中
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	夜の博物館
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日、企画展最終日
20	火	ピチャリ第176号発行
21	水	
22	木	
23	金	秋分の日
24	土	ジュニア探検クラブ
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

※9月の休館日はありません

### ネジバナ

去年より多く見かける花はありますか？今年もネジバナを多く見かけます。スッと立ち上る意思の強さと可愛らしさを感じる花です。



### 編集後記 ~tawagoto~

展示に関する本を多く読む機会を得た。文学や曆に登場する鳥を短歌や俳句、小説や詩歌などから探した。新旧意外に多くあることがわかった。それだけ身近だということだろう。鳥たちは人々の暮らしにいる隣人。渡りの鳥を見上げ、季節の訪れを知り、花の蜜を吸う鳥を見つけ、華やかな春の気配を感じる。鳥も人間も自然の一部。変わりゆく環境の変化のなか、生きものたちとの距離を保つことは、大切にしたいと強く思う。

## Pichari ~ピチャリ~

第176号

令和4年8月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp